

日本

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

全ての現実はず必ず真実を表す。今日の社会と生活は、必ず為政行動の結果である。しかし責任の全てを有するわけではなく、自己の国体は、歴史を有するものである。

知者は、必ず現実を知るのである。この知性が現実を支配することが近代化の真偽である。

現実が指針を失うことは今日の現実である。他方においては新たな模索が存在するため、現実を否定することは誤りである。

世界の趨勢は次世代技術への転換を有するのである。この新たな技術基準が新しい未来であり、これらは政治のコンセンサスが必ず要求されるものである。

これら現実政治の空白とともに、現実のカオス的な混乱を今日有する。これらは完全な既存価値観の崩壊なのである。

世界は異なるルーツとバックグラウンドにおいて、新たな未来を模索しているのである。日本は独自アイデンティティを基盤とする異なる社会なのである。

これらは近代学が西洋で発達したことと、第2次世界大戦における時刻の完全な転換が、自己矛盾を有するという現実とともに、自己を完全に見失っていることは真実であると考え

る。

社会の混乱はず必ず政治から出るのであるのである。このことは政治の自覚を要求するものである。

人間は、どの人種国籍であっても必ず同じである。この理解は、国家主義への誤りを指摘するものである。

豊かさの創造は、格差の創造ではないはずであり、それらは生活の向上が全ての国民へ要求されることを意味するのである。

これらは、過去という歪みが、計り知れない混乱を今日有することへの提言である。

黒田インターナショナル